

## ⑫ 公開実用新案公報(U)

平2-101164

⑬ Int. Cl.<sup>8</sup>F 16 H 57/04  
G 01 P 1/04

識別記号

A  
Z

庁内整理番号

8207-3 J  
7355-2 F

⑭ 公開 平成2年(1990)8月13日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全2頁)

⑮ 考案の名称 スピードメータギヤの潤滑構造

⑯ 実 願 平1-7640

⑰ 出 願 平1(1989)1月27日

⑱ 考 案 者 磯 前 秀 俊 東京都港区芝5丁目33番8号 三菱自動車工業株式会社内  
⑲ 出 願 人 三菱自動車工業株式会 東京都港区芝5丁目33番8号  
社  
⑳ 代 理 人 弁理士 光石 英俊 外1名

## ㉑ 実用新案登録請求の範囲

メインシャフトの後部ベアリングの後方に設置されたスピードメータギヤを潤滑する構造であつて、前記後部ベアリングの支持壁前面に棚を設けると共に、この棚に落下した潤滑油を前記スピードメータギヤに導くための油孔を前記支持壁に形成したことを特徴とするスピードメータギヤの潤滑構造。

## ㉒ 図面の簡単な説明

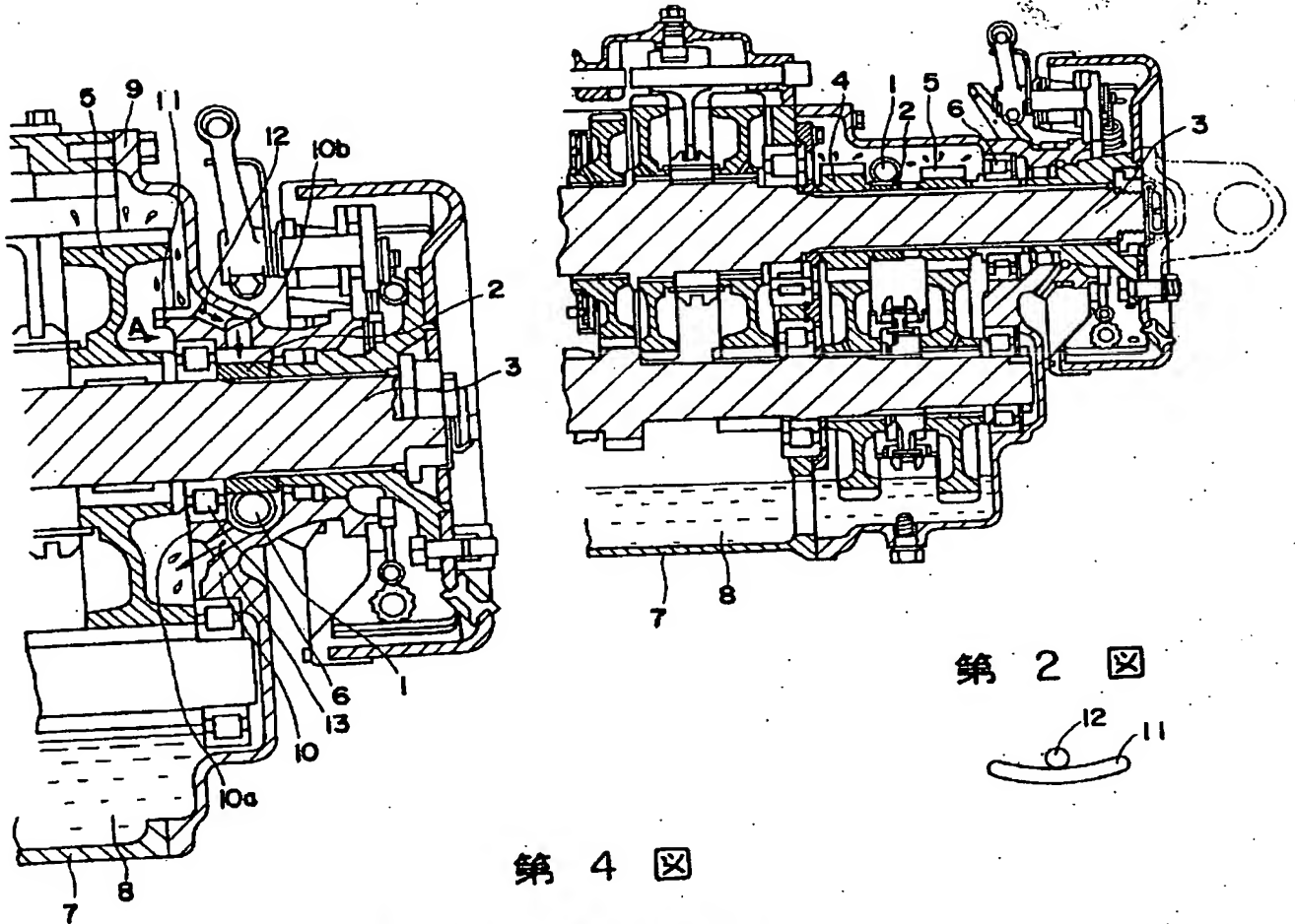
第1図は本考案に係るスピードメータギヤの潤

滑構造を採用した直結型トランスミッションの後部断面図であり、第2図は第1図中A矢視図である。また、第3図はオーバドライブ型トランスミッションの後部断面図であり、第4図は従来の直結型トランスミッションの後部断面図である。

図中、1はスピードメータギヤ、2はスピードメータウオーム、3はメインシャフト、6は後部ベアリング、8は潤滑油、9はリヤカバー、10は支持壁、11は棚、12、13は油孔である。

第 3 図

第 1 図



第 2 図

第 4 図

